

「教室や教室以外でも多くの学びを得た11月」

11月は暖かな冬の初めとなりましたが、先日近畿地方での木枯らし1号の便りが聞かれ、ここ数日間で急に冬らしい気候になってきました。校庭のイチョウも黄色にゆれる葉を散らし次々と地面も彩っています。秋から冬へ確実に季節は進んでいます。そのなかで2学期も早いもので残すところあと1か月となりました。今年は新型コロナウイルス感染症の5類移行もありましたが今回はインフルエンザの広がりが懸念されていて、こちらにも気を付けながら子どもたちが元気に活動できるように学校運営を行っていきます。

さて、今年は12月22日が冬至にあたります。このころは1年でもっとも昼が短く、夜が長いころです。日が照る時間が徐々に減っていき、太陽の高さも低く日差し力も弱まったように感じます。ところが、冬至を過ぎると少しずつ光が増していき、やがて春となり季節がめぐっていきます。古来人々はこのような変化を感じ取り、冬至を明るい希望を期待する節目の日として考えていたようで、「一陽来復」という言葉で言い表すことができます。まだまだ寒さはこれからですがこの時期を新たなスタートとしてほしいです。



学校田での脱穀



業間かけ足



伝統文化わくわく体験教室

11月10日(金)に志染っ子人権デーとして親子人権学習を各クラスで実施しました。各学年で保護者の方に授業に入っていただき、児童とともに意見交換していただきながら、保護者の子どもへの思いを伝えていただく授業や、友だちとの協力について、身近にある人権課題について、さらに地域に広げての人権学習など、親と子が共に学ぶ学習で心豊かな学びを実施できた一日となりました。午後からのPTA親子人権講演会では、アトランタパラリンピック元日本代表の車椅子バスケットボール選手の黒木新吾さんに講演いただきました。車椅子バスケットボールでの交流では、子どもたちも車椅子に乗ってバスケットボールの試合をしました。またご自身の苦労やがんばりを話していただき現役選手として努力されている姿から私たちに勇気や希望を与えていただきました。ありがとうございました。

11月は3年生が学校田でとれた米の脱穀などを行い、4年生は志染ふれあいサロンへの参加、緑が丘中学校の「トライやる・ウィーク」では2名の志染小卒業生が来てくれました。その他にも各学年の行事やマラソン大会に向けての業間駆け足など多くの体験学習を行いました。それらは教室だけでは得られない貴重な学びの場であり、多くの人と協働して学ぶなかで子どもたちはよりいっそう成長する機会となっています。これには地域の方々のご協力・ご支援をいただきました、感謝いたします。今後とも本校教育へのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。



PTA 親子人権講演会